

四 災害発生状況

昭和四十五年以降に発生した風水害は次のとおりであるが、特に昭和五十一年の台風一七号による災害は、当時造成中の香南開拓パイロット柿園の崩落により付近の農地に甚大な被害をもたらした。昭和六十二年の台風一九

号は、町内の道路・水路の損壊など一〇〇か所以上に及ぶ被害となった。その他、小雨・豪雨による農作物への被害もたびたび生じている。

昭和四十五年

六月中旬陰性の梅雨が連日（十四日～二十六日）続き、日照不足のため麦作に大被害があった。

昭和五十年

八月二十一日に大型台風六号が襲来し、香川県中東部・山間部に三〇〇ミリから四〇〇ミリの降雨があり、農作物に被害が生じた。

昭和五十一年

台風一七号の接近により九月八日から十三日にかけて内場池で七〇八ミリの降雨があり、県下では死者五〇名の大被害となった。

昭和五十四年

台風一二号（九月四日）、一六号（九月三十日）、二〇号（十月十八日）により、ため池・水路等に甚大な被害をもたらした。

昭和五十五年

台風一三号（九月十一日）、一九号（十月十四日）により、農作物に被害が生じた。

昭和六十二年

台風一九号（十月十六日）は、香川県東部に豪雨をもたらした。本町においても道路・河川等に多くの被害が生じた。

平成 二年

台風一九号（九月十九日）の接近により、二日間で雨量が二〇〇ミリに達する豪雨に見舞われ、県下で二名が死亡した。本町においてもため池、農道等に甚大な被害をもたらした。

平成 五年

台風五号（六月二十八日）は、長雨による日照不足となり、台風一三号（九月四日）は早期栽培のコシヒカリに甚大な被害をもたらした。香川農協管内で七四〇〇万円の損害となった。その他の水稲・野菜・果樹にも被害が生じた。

〈災害復旧費 三〇二六万円〉